

木材ニューズレター

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年6月分)

1. 調査実施期間 平成18年 5月20日 ～6月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

6月分の回答企業数は41社、回収率は71.9%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		18/6月	7月	8月
仕入動向	国産材	△ 9.1	△ 1.5	△ 3.1
	外材	△ 6.9	△ 9.7	△ 8.6
販売動向	国産材	△ 12.1	△ 1.5	△ 9.4
	外材	△ 4.1	2.7	△ 8.3
在庫動向	国産材	△ 11.3	△ 8.1	△ 3.3
	外材	△ 5.6	△ 9.7	△ 4.3

仕入は、国産材小さなマイナスから7～8月若干出入りあるが、より小さなマイナス幅へと回復基調。外材マイナス幅ほぼ一定で弱い。販売は、国産材7月一気にマイナス幅縮め好転気配だが、8月マイナス幅を戻している。外材プラスへの回復も一時期で、先行きはマイナス幅に戻している。在庫は、国産材、外材とも小さなマイナス幅で推移し、8月にマイナス幅をより小さくしている。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	18/6月	7月	8月
スギ正角(グリーン)	0.0	△ 1.9	△ 1.9
スギ正角(KD)	5.8	1.9	△ 2.0
ヒノキ正角	5.4	3.6	0.0
ヒノキ土台角	5.6	5.6	1.9
米ツガ正角(現地挽)	26.0	8.0	4.0
米ツガ防腐土台角	13.5	5.8	4.0
米ツガ割物(現地挽)	25.0	8.3	6.3
米マツ平角	38.0	16.0	4.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	34.6	17.3	4.0
ホワイトウッド集成管柱	40.7	13.0	9.6
レッドウッド集成平角	38.6	18.2	11.4
型枠合板(国産)	72.5	50.0	28.9
型枠合板(輸入)	71.7	50.0	31.8
針葉樹合板	70.5	50.0	31.0

スギ正角(グリーン、KD)ゼロ、プラス幅から小さなマイナスと弱含み。ヒノキ角、ヒノキ土台プラス幅若干縮めるが好調である。米ツガ正角、防腐土台、米マツ平角、北洋アカマツタルキ、大きなプラス幅を一気に小さなプラス幅に縮め依然堅調である。ホワイトウッド集成管柱、レッドウッド集成平角極めて大きなプラス幅を7～8月と縮めて強含みの推移。合板は驚異的なプラス幅を減じたが、依然極めて大きなプラス幅で特筆されるべき強さで推移している。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

2006年6月19日発行

1. 荷動き

単位:%

品目		18/6月	7月	8月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	9.1	9.1	12.5
		横ばい	63.6	78.8	68.8
		やや減少	27.3	12.1	18.8
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	19.4	8.3	2.9
		横ばい	52.8	66.7	80.0
		やや減少	22.2	22.2	14.3
		減少	5.6	2.8	2.9
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	12.1	12.1	9.4
		横ばい	54.5	72.7	62.5
		やや減少	30.3	15.2	28.1
		減少	3.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	18.9	18.9	11.1
		横ばい	56.8	67.6	61.1
		やや減少	21.6	13.5	27.8
		減少	2.7	0.0	0.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	6.5	3.2	6.7
		横ばい	64.5	77.4	80.0
		やや減少	29.0	19.4	13.3
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	22.2	2.8	8.6
		横ばい	47.2	77.8	77.1
		やや減少	27.8	16.7	11.4
		減少	2.8	2.8	2.9

品目		18/6月	7月	8月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	52.0	16.0	8.0
	横ばい	48.0	84.0	92.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	26.9	11.5	8.0
	横ばい	73.1	88.5	92.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	50.0	16.7	12.5
	横ばい	50.0	83.3	87.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	76.0	32.0	8.3
	横ばい	24.0	68.0	91.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	69.2	34.6	8.0
	横ばい	30.8	65.4	92.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	3.7	3.7	3.8
	やや上昇	74.1	18.5	11.5
	横ばい	22.2	77.8	84.6
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	4.5	4.5	4.5
	やや上昇	68.2	27.3	13.6
	横ばい	27.3	68.2	81.8
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	45.0	20.0	15.8
	やや上昇	55.0	60.0	26.3
	横ばい	0.0	20.0	57.9
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	47.8	21.7	18.2
	やや上昇	47.8	56.5	27.3
	横ばい	4.3	21.7	54.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	45.5	27.3	19.0
	やや上昇	50.0	45.5	23.8
	横ばい	4.5	27.3	57.1
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

2. 価格動向

品目		18/6月	7月	8月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	100.0	96.3	96.2
	やや下落	0.0	3.7	3.8
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	3.8	0.0	0.0
	やや上昇	3.8	7.7	0.0
	横ばい	92.3	88.5	96.0
	やや下落	0.0	3.8	4.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	14.3	7.1	0.0
	横ばい	82.1	92.9	100.0
	やや下落	3.6	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	14.8	11.1	3.8
	横ばい	81.5	88.9	96.2
	やや下落	3.7	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ一般材丸太では、U S物の輸出価は据え置かれたものの、カナダ物のF A S (本船側渡し)は上がっており、大幅な船運賃の値上げと併せ、為替メリットは完全に相殺された。(東京:問屋)
- 役物市場は今一歩迫力なし。産地出材も多くななく、価格も高上がりしているが、内地市況は全く動意なし。(東京:問屋)
- 国産材の素材生産が減少気味。製材品の価格動向の今後に注意必要。(東京:問屋)
- 南洋材の現地高、仕入量減少どう切り抜けるのか問題。(東京:問屋)
- 政局不透明のため、経済全般影響多大。サッカー終了後、世界規模の不況とならん。(東京:問屋)
- 梅雨入りで売行きも価格上昇も一服。(東京:問屋)
- 合板に引っぱられるも羽柄材に影響なく、荷動き悪いが細かいので体は忙しい。(東京:問屋)
- 景気上昇説が唱えられている現在、木材、合板類の価格設定がとてもむずかしい。まだ動きが悪いのに価格ばかりが先行している。(東京:仲買小売)
- 荷の動きは良くないが、合板類の価格が非常に高い。(東京:仲買小売)
- 個々の店により繁忙感に大きな差がある。来月の締切分より合板中心に一部の販売価格改訂を予定。原油価格上昇がマスコミで騒がれているので、販売価格上昇もそれほど困難ではないであろう。(東京:仲買小売)
- 町場工務店は一部を除きほぼ全滅(当社客筋)。木材販売は低空飛行で横ばい。リフォーム部は水回り関連で絶好調。来月まで一杯です。(東京:仲買小売)
- 合板(ラワンベニヤ 2.3、5.5、9、下地用12mm)が集めにくい状態が続いている。仕事が無いので何とか手当てできるが、忙しくなったらどうなるか不安です。(東京:仲買小売)
- 米ツガの不足材(90角、105角)には代替品があるが、ラワン合板や針葉樹合板には替わるものがないので、これから秋口まで材料を集めるのに苦労しそうです。思ったほど仕事が出ていないので助かっているのが実情です。(東京:仲買小売)
- コンパネ、ラワンベニヤ、針葉樹など合板関係の品薄と値上がりで商品を確保するのが大変です。(東海:仲買小売)
- 依然、型枠用合板の価格が上昇しており、販売しにくい状態が続いている。(東海:仲買小売)
- 需要は低迷しているのに、特に合板価格が玉不足との事で高騰している。今の市況から考えると、更なる在庫の上積みは考えるところでは。(東海:仲買小売)